

「苗生産センター」は生産者のみなさまに満足いただくため、最新の設備と高度な技術を結集しました。

そのために、

病虫害への対策

最適な苗栽培環境

自然光へのこだわり

をモットーに、苗をどこよりも誰よりも大切に24時間徹底管理し、「高品質な苗」の栽培に努めます。



最新の設備と20年近く育苗ノウハウをもったスタッフの技術を結集することで、ご注文いただいた通りの苗、病気感染のない健全で強い苗をご提供します。

また、病気の感染確認や病虫害検定、苗生育情報の発信を適時に行うとともに、生産者のリクエストにできるかぎり応えていくオーダーメイドの苗作りを目指し、野菜・花き生産基盤の維持・発展を支援します。



トマト苗



なす苗



きゅうり苗



花苗

エースプラグは、JAあいち経済連が生産する苗の総称です。

生産者のみなさまにとっての「苗生産センター」であるために

ポイント
1

最新の設備・機器の導入により、品質の揃った強い苗を提供します。

ポイント
2

病虫害の徹底的な侵入対策により、健全な苗を提供します。

ポイント
3

産地に根ざした生産拠点として、苗の生育情報を適時にお伝えします。



A エアカーテン

病虫害侵入防止のため、生産エリアへの全出入りに前室とエアカーテンを設置しています。



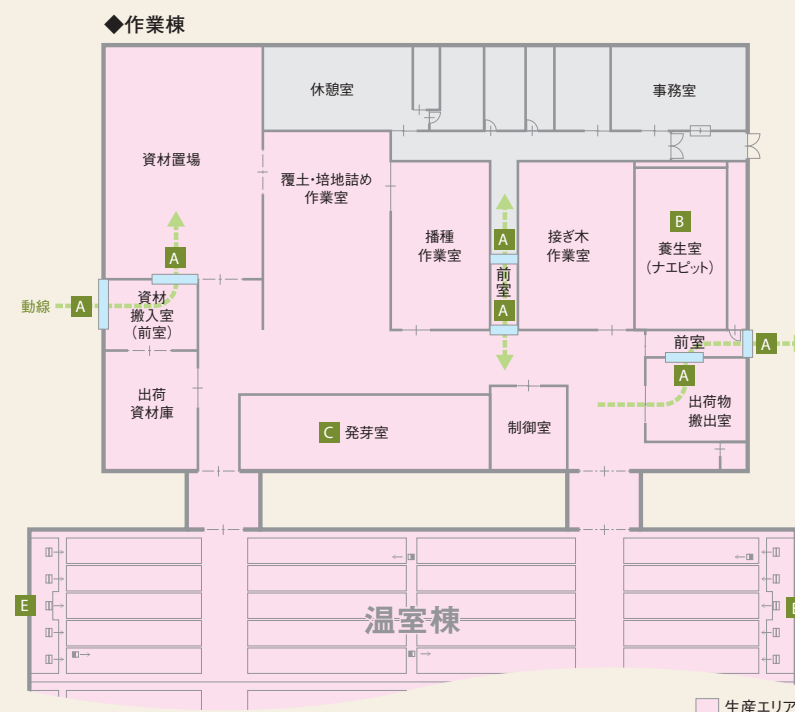
B 養生室（ナエピット）

養生室は接ぎ木を行った後に、作目にあわせて温度・湿度・光・風をコントロールすることで、接ぎ木の活着を促す部屋です。



C 発芽室

発芽室は播種後に、作目にあわせて温度・湿度・光をコントロールすることで、発芽揃いを均一にします。



最新の設備と高技術により「高品質な苗」をお届けします

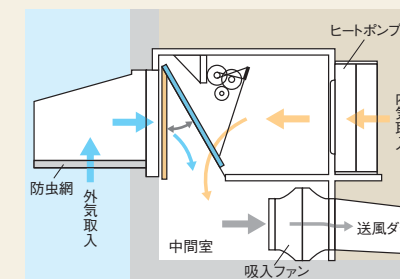
病虫害への対策と最適な栽培環境、そして自然光にこだわりながら、「24時間環境複合制御システム」により、苗を大切に管理します。



D 高軒高フェンロー型ハウス・補光用ナトリウム灯

①夏季の高温を抑制するために、ハウス室内容積が大きく、換気効率の良い高軒高のハウスを採用しています。

②硬質製地フィルムの採用とフェンロー型特有の細い骨材により、採光性に優れた光環境を実現するとともに、ナトリウム灯による補光環境を整備しています。



E 温室への外気取り入れ

外気取入れ口の防虫網を0.218mmにするとともに、吸入ファンの前に中間室を設置することにより、外部から害虫を吸入する危険を最小限にしています。



G 冷暖房ヒートポンプ・ベンチ下ダクト

育苗環境の温度ムラ解消とヒートポンプによる冷暖房効率を高めるため、ベンチ下ダクトを採用しています。また、微風が常に苗に当たることで、軟弱徒長の防止効果を高めるとともに光合成に必要な換気を行います。



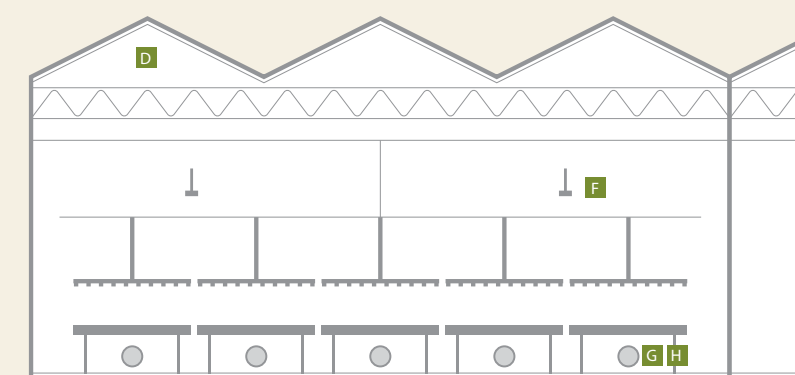
F 細霧ミスト冷房

高温時にハウス内を気化冷却することにより、温度上昇を抑制します。



H 炭酸ガス供給システム

施設内で不足する炭酸ガスを補うことで、植物の光合成を活性化させ、苗の生育を促進させます。



◆温室棟